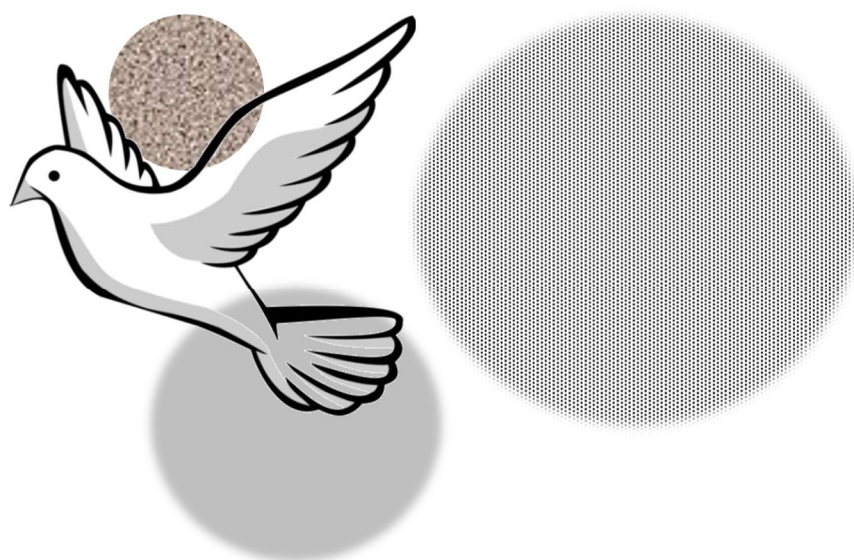




令和7年度藤沢市
平和学習広島・長崎派遣プログラム報告会



2025 年(令和 7 年)8 月 31 日(日)
藤沢市・平和の輪をひろげる実行委員会



藤沢市核兵器廃絶平和都市宣言

昭和 57 年 6 月 22 日
告示第 29 号

わが国は世界で唯一の核被爆国であり、核兵器廃絶と恒久平和の実現は全国民共通の願いである。

しかし、すでに地球上には多くの核兵器が貯えられ、人類の生存に深刻な脅威を与えている。

藤沢市は、日本国憲法に基づき国の平和と安全こそが、地方自治の根本的条件であることにかんがみ、非核三原則が完全に実施されることを願い、核兵器の廃絶と軍縮を全世界に訴え、この人類共通の大義に向かつて不断の努力を続ける核兵器廃絶の平和都市であることを宣言する。

藤沢市核兵器廃絶平和推進の基本に関する条例

平成 7 年 3 月 30 日
条例第 47 号

(目的) 第 1 条

この条例は、藤沢市核兵器廃絶平和都市宣言(昭和 57 年藤沢市告示 第 29 号)に基づき、核兵器廃絶を目指す国是としての非核三原則の厳守及び日本国憲法の基本理念である恒久平和の実現に関する基本原則を定め、もつて市民の平和で安全な生活の維持向上に資することを目的とする。

【平和の輪をひろげる実行委員会】

藤沢市では、「藤沢市核兵器廃絶平和都市宣言」及び「藤沢市核兵器廃絶平和推進の基本に関する条例」に基づき、核兵器廃絶と恒久平和を目指し、平和の輪をひろげる実行委員会と協働して、さまざまな平和事業を実施しています。



平和メッセージ

事前学習会で、各班が考えた平和メッセージです。被爆地広島・長崎で班員が揃って読み上げを行い、恒久平和を願いました。

広島平和メッセージ

2025年（令和7年）8月5日

A 班

過去を学び、互いを尊重し、笑顔のあふれる世界にしよう。

B 班

戦争がないだけでなく差別や抑圧がなく
お互いを尊重しあえる関係を目指します。

C 班

後世に戦争の悲惨さを伝える為に
今私たちができることを学び、行動し
互いを尊重し合える世界になりますように。

長崎平和メッセージ

2025年（令和7年）8月7日

D 班

長崎で学んだこと、平和の大切さを世界に届ける
思いやりの気持ちを持ち、当たり前の日常を大切にしよう

E 班

笑顔で心の国境を越えて
過去と未来を平和で繋げよう

F 班

原爆で人々にとって戦争がどのようなものになったか、
本当の平和とは一体なにかを考え、より良い未来を作れるように。

G 班

おいしいものをお腹いっぱい食べ、安心してぐっすり眠ることができる
そんな平和な日々を世界中のみんなが過ごせるように
戦争を語りついでいこう



プ ロ グ ラ ム

13:30 開 会
主催者あいさつ

13:40 令和7年度平和学習広島・長崎派遣者報告（7班が発表）

藤沢市では、「藤沢市核兵器廃絶平和都市宣言」に基づき、次世代を担う青少年に平和の大切さや核兵器の恐ろしさを伝えるため、広島と長崎に青少年を派遣しています。

広島派遣については、8月5日から7日まで、長崎派遣については、8月7日から10日までの日程で実施しました。
小学生からコースリーダーまでの、合計42人を派遣に参加しました。本日は、被爆地広島・長崎で学び、感じたことを発表します。

15:10 修了証交付

15:30 閉 会



●平和基金にご協力をお願いします●

藤沢市では、戦争の記憶を風化させず、核兵器や戦争の悲惨さ、平和の大切さを市民の皆様に伝え、次世代を担う青少年に継承するために、本事業をはじめ、青少年の被爆地への派遣や、日帰りのバスツアーなど、さまざまな事業を実施しています。今後も、充実した平和事業を実施していくために、平和基金への寄附を募集しています。皆様のご協力をお待ちしております。

詳しくは、藤沢市平和基金のHPをご覧ください。

藤沢市 平和基金

検 索



二次元コードはこちら